

CASBEE®新潟 | 評価結果 |



- 使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版
- 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.1

1. 建物概要

建物名称	新通小学校分離新設校
建設地	新潟県新潟市西区大野字137番 外20筆
用途地域	指定なし 22条区域
建物用途	学校,
竣工年	2020年3月 竣工
敷地面積	16,719.89 m ²
建築面積	3,238.35 m ²
延床面積	7,868.15 m ²
階数	地上5F
構造	RC造
評価の段階	実施設計段階評価
評価の実施日	2018年2月20日



2. CASBEE新潟の評価結果

	A	$BEE = \frac{Q \text{ 建築物の環境品質}}{L \text{ 建築物の環境負荷低減性}} = \frac{66.1}{42.3} = 1.5$
S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★		

3. 新潟市の重点項目の評価

重点項目	平均スコア	評価	項目	スコア
1. 長寿命化の取組み 建築物を長く、安心・安全に使い続けるために	3.6		バリアフリー計画	Q2.1.1.3 3.0
			維持管理	Q2.1.3 4.5
			設備の更新性	Q2.3.3 3.2
2. 地震への取組み かけがえのない人命、財産を守るために	3.2		耐震・免震・制震・制振	Q2.2.1 3.0
			信頼性	Q2.2.4 3.4
3. 大雨への取組み 大雨に強いまちづくりのために	4.0		雨水排水負荷低減	LR3.2.3.1 4.0
4. 自然エネルギー利用の取組み 地球温暖化対策のために	4.0		建物外皮の熱負荷抑制	LR1.1 5.0
			自然エネルギー利用	LR1.2 3.0
5. 資源循環の取組み 持続可能な循環型社会づくりのために	4.0		節水	LR2.1.1 4.0
			躯体材料以外でのリサイクル材の使用	LR2.2.4 3.0
			部材の再利用可能性向上への取組み	LR2.2.6 5.0
6. 水と緑を活かす取組み 豊かな自然環境を次世代に引き継ぐために	3.0		生物環境の保全と創出	Q3.1 3.0
			敷地内温熱環境の向上	Q3.3.2 3.0
7. 新潟のまちなみへの取組み 地域の個性や魅力を活かしたまちづくりのために	4.5		まちなみ・景観への配慮	Q3.2 4.0
			地域性への配慮、快適性の向上	Q3.3.1 5.0

4. 新潟市の重点項目の配慮事項

1. バリアフリー対応、将来の維持管理更新に配慮した構造計画。
2. 耐震性重要度係数I=1.25としている。
4. 断熱材の適材適所の使用。
5. 節水器具の使用。リサイクル資材を使用している。
7. 敷地内に地域住民が利用できる広場を計画している。

CASBEE[®]新潟

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE新潟マニュアルv.4.0、CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE新潟v.4.0.1

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	新通小学校分離新設校	階数	地上5F
建設地	新潟県新潟市西区大野字137番 外20筆	構造	RC造
用途地域	指定なし 22条区域	平均居住人員	700 人
地域区分	5地域	年間使用時間	3,600 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 竣工	評価の実施日	2018年2月20日
敷地面積	16,720 m ²	作成者	甲斐文晴
建築面積	3,238 m ²	確認日	2018年2月22日
延床面積	7,868 m ²	確認者	野澤道行



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.5 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100% (46 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 96%

③上記+②以外の 96%

④上記+ 96%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 3.6

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.7

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.4

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>新潟市教育ビジョンを踏まえ、新通小学校分離新設校の教育目標や新潟市学校整備指針を基に以下の事項を学校づくりの基本理念として計画しました。 ■多様な学びに対応できる学校</p> <p>■安心・安全で、人と環境にやさしい学校</p>	<p>その他</p> <p>限られた敷地の中で校舎をコンパクトにまとめることにより、多様な外部学習空間を演出している。</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>廊下拡張型多目的スペースを南側とし、児童が最も長い時間を過ごす普通教室は北側に配置することにより、教室に安定した採光を確保している。敷地のすぐ脇には主要道路が通っており、騒音の問題により窓を開けることができないため、教室には冷房を計画している。また、空調室内機をバランスよく配置することで、室内環境が一定になる</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>耐震性重要度係数を1=1.25としている。室用途の更新や将来の用途変更にも考慮し、コンクリート壁は必要最低限としている。</p>	
<p>LR1 エネルギー</p> <p>適材適所の断熱材を選定している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水器具・給水コマ・リサイクル資材を使用している。</p>	
	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>用途に応じた駐車スペースを敷地内確保すると共に、乗入りを分散し周辺道路の渋滞緩和への配慮を行っている。</p>	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される